

## 特色ある教育活動

～「群読学習」に取り組んでいます～

矢板市が取り組んでいる特色ある学校づくり推進事業において、本校では、表現力を高める体験学習として「群読学習」を実践しています。講師に現在、全国各地で「群読」の実技講習を行っている日本群読教育の会事務局長重水健介氏をお迎えし、全学年各2時間ずつ直接指導をいただきました。



【重水先生による指導】

### 群読とは

詩歌や物語、古典、英文、わらべ歌などさまざまな文章を大勢で分担して読む（分読）活動である。集団の理念を共有したり、連帯感を深めたりすることができる。



【まとめの発表の様子】

### 群読発表会(朝の全校集会)

昨年度から重水先生に御指導していただき、その成果を生かして、全校生の前で発表する機会を定期的に設けています。それぞれの学年で工夫を凝らした発表が展開されています。



## 秋空の下、親子ふれあいを楽しみました

今年のPTA主催親子ふれあい活動は、総勢約400名の参加を得て、学年交流ドッジボール大会を行いました。ドッジボールを通してさわやかな汗をかきながら、親子のふれあいや学年間の交流を深めることができました。最後には、お楽しみ抽選会があり、賑やかな歓声がかかる中終了しました。PTA総務員及び、学年委員長の皆様にはたいへんお世話になりました。



学年の発達段階に応じたルールを決め、1時間程楽しくも熱い試合が展開されました。



たくさんの素晴らしい賞品が用意されて、お楽しみ抽選が行われました。



## 学力向上に向けた取組

《 学力向上対策の3つの柱を基にして 》

### 教師の指導力を高める

- ・授業の中で、ペア、グループなど話し合う活動を行う。
- ・基本的な学習習慣を身に付けさせる。
- ・目当てを明確にして、授業に臨む。
- ・T Tや少人数、習熟度別指導等、指導体制を工夫する。
- ・個人研修や校内研修を充実させ、資質・能力の向上を図る。

### 子どもの学ぶ意欲・学習習慣

- ・宿題をパターン化し、家庭学習の充実を図る。
- ・家族の人と一緒に取り組める学習課題を工夫する。
- ・学年の発達段階に応じて、自主学習に取り組ませる。
- ・グループ学習など学び合う活動を意図的に取り入れる。
- ・友達のよいところを認め、励まし合う雰囲気から自己肯定感を高める。

### 保護者の理解・協力を得る

- ・各種たより等で児童の現状、実態及び、学力向上の取組をお知らせし、理解と協力を得る。
- ・個人懇談や講演会を通して、家庭学習の支援をお願いする。
- ・各種がんばりカード（音読、家庭学習カード、片小ブランドチェック票など）による活動への支援をお願いする。